Ⅵ　研究の全体構想

学校の教育目標

夢や希望の実現に向けて、主体的に粘り強く取り組み、確かな学力とたくましい心身を身に付けた子どもの育成

教育的課題
社会的背景

児童の願い
保護者の願い
教師の願い

目指す教師像　**目指す児童像**　**目指す学校像**

ひろい心で	のびる子	かんがえる子	げんきな子

研究主題

主体的・対話的で深い学びの実現にむけた授業改善の取組

～国語科・算数科における学び合いを中心に～

研究目標

算数科の文章問題および国語科の読む領域の授業において、主体的・対話的で深い学びを実現する授業を行うための方法を究明する。

研　究　仮　説　1	研　究　仮　説　2
「ひのかげ学びのスタイル」の「かんがえる」段階を中心に授業改善を行うことで、児童の活動が思考を働かせたものになり、主体的・対話的で深い学びを実現することができるであろう。	児童の学習習慣を確立し、児童の基礎的・基本的な学力を身に付けさせることで、児童が不安なく授業に取り組むことができ、主体的・対話的で深い学びを実現するための素地を養うことができるであろう。

研　究　内　容　1	研　究　内　容　2
（1）算数科の文章問題・国語科の読む領域における授業改善 ・　新学習指導要領に即した理論研究 ・　「ひのかげ学びのスタイル」に即した指導過程や手立ての工夫 ・　相互参観や模擬授業	（2）主体的・対話的で深い学びを実現するための素地を養う取組 ・　諸学力調査・分析および実態調査 ・　学習習慣の定着や教室環境整備 ・　個に応じた指導